

# 決算説明資料

## 2006年3月期第3四半期

2006年2月2日  
ミネベア株式会社

# 連結業績ハイライト

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期		前年同期比 伸び率
	3Q	2Q	3Q	
売上高	75,180	80,049	80,948	+7.7%
営業利益	4,165	4,214	6,043	+45.1%
経常利益	2,950	3,159	4,694	+59.1%
税引前利益	2,445	3,595	4,474	+83.0%
純利益	1,575	1,441	2,400	+52.4%

売上高は前年同期比実質ほぼ横ばい。  
営業利益は前年比45%増。2Qより18億円改善。

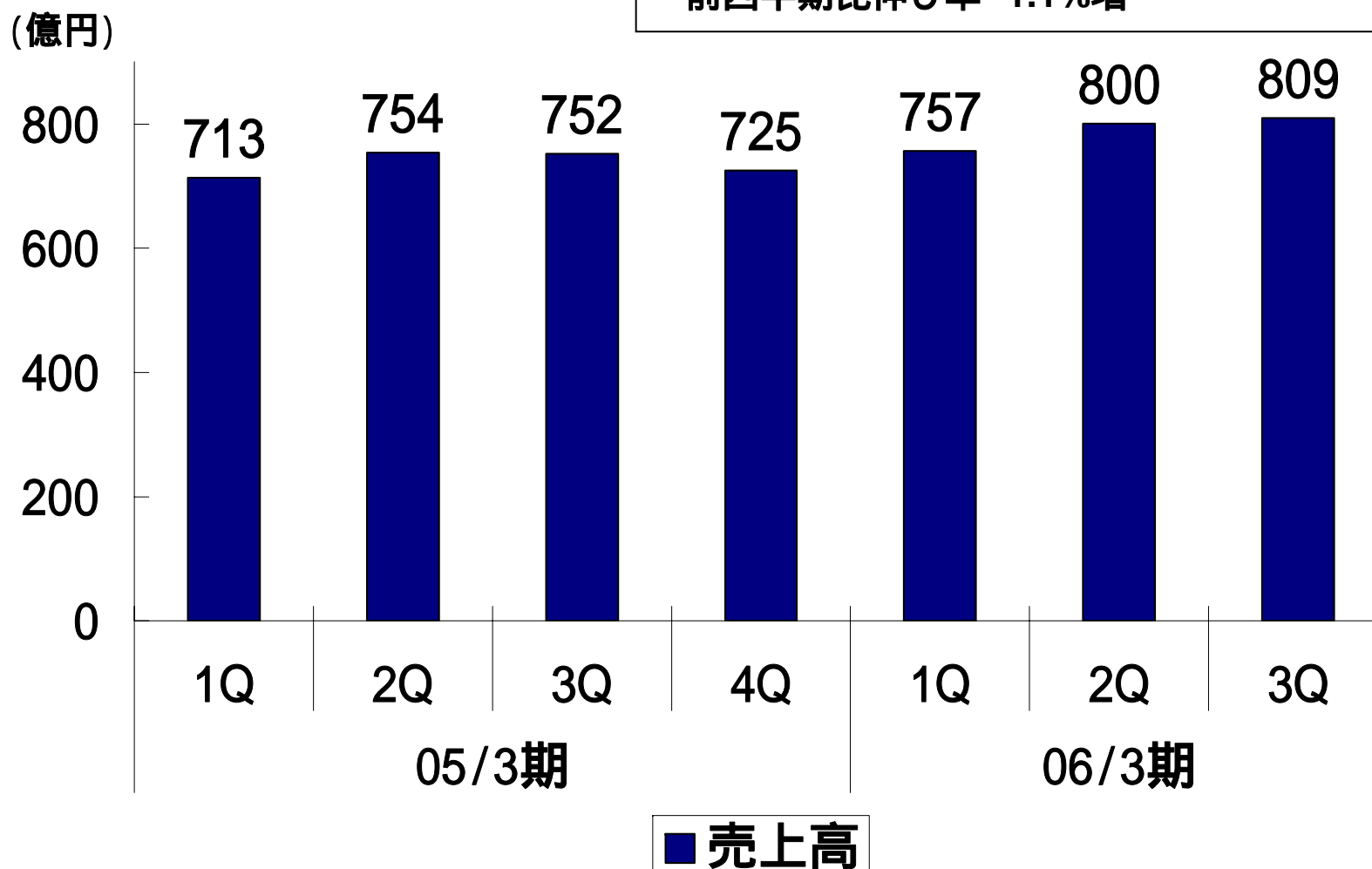
為替の影響 05/3期3Q 06/3期3Q  
 US\$ 106.80円 116.21円  
 タバ-ツ 2.62円 2.83円  
 売上高 +46億円、営業利益 +3億円

# セグメント別収益

(百万円)	2005/3期	2006/3期			前年比 伸び率	前四半期比 伸び率
	3Q	1Q	2Q	3Q		
(売上高)						
機械加工品	28,927	30,573	31,631	32,938	+13.9%	+4.1%
ベアリング関連製品	24,491	25,982	26,402	27,837	+13.7%	+5.4%
その他機械加工品	4,436	4,591	5,229	5,101	+15.0%	-2.4%
電子機器	46,254	45,116	48,419	48,009	+3.8%	-0.8%
回転機器	27,350	26,443	27,880	27,724	+1.4%	-0.6%
その他電子機器	18,903	18,673	20,539	20,285	+7.3%	-1.2%
合計	75,180	75,690	80,049	80,948	+7.7%	+1.1%
(営業利益)						
機械加工品	5,952	5,067	6,045	6,972	+17.1%	+15.3%
電子機器	1,786	2,056	1,831	930	-	-
合計	4,165	3,010	4,214	6,043	+45.1%	+43.4%

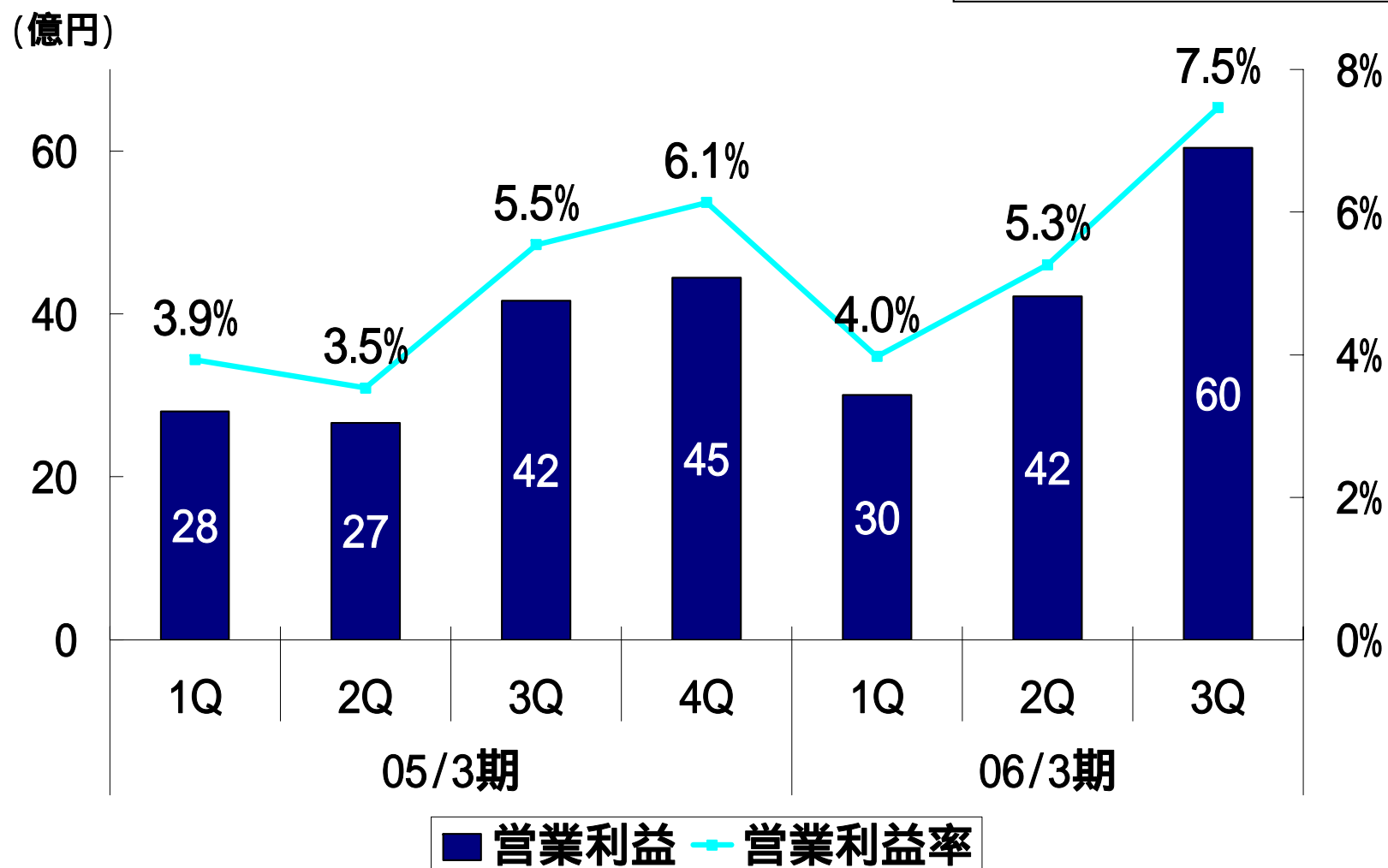
# 売上高

3Qは、ヘアリング、HDD用のビレットアッシー及びスピンドル  
モーター、PC用のキーボードが2Q比増加。  
前年比伸び率 7.7%増  
前四半期比伸び率 1.1%増

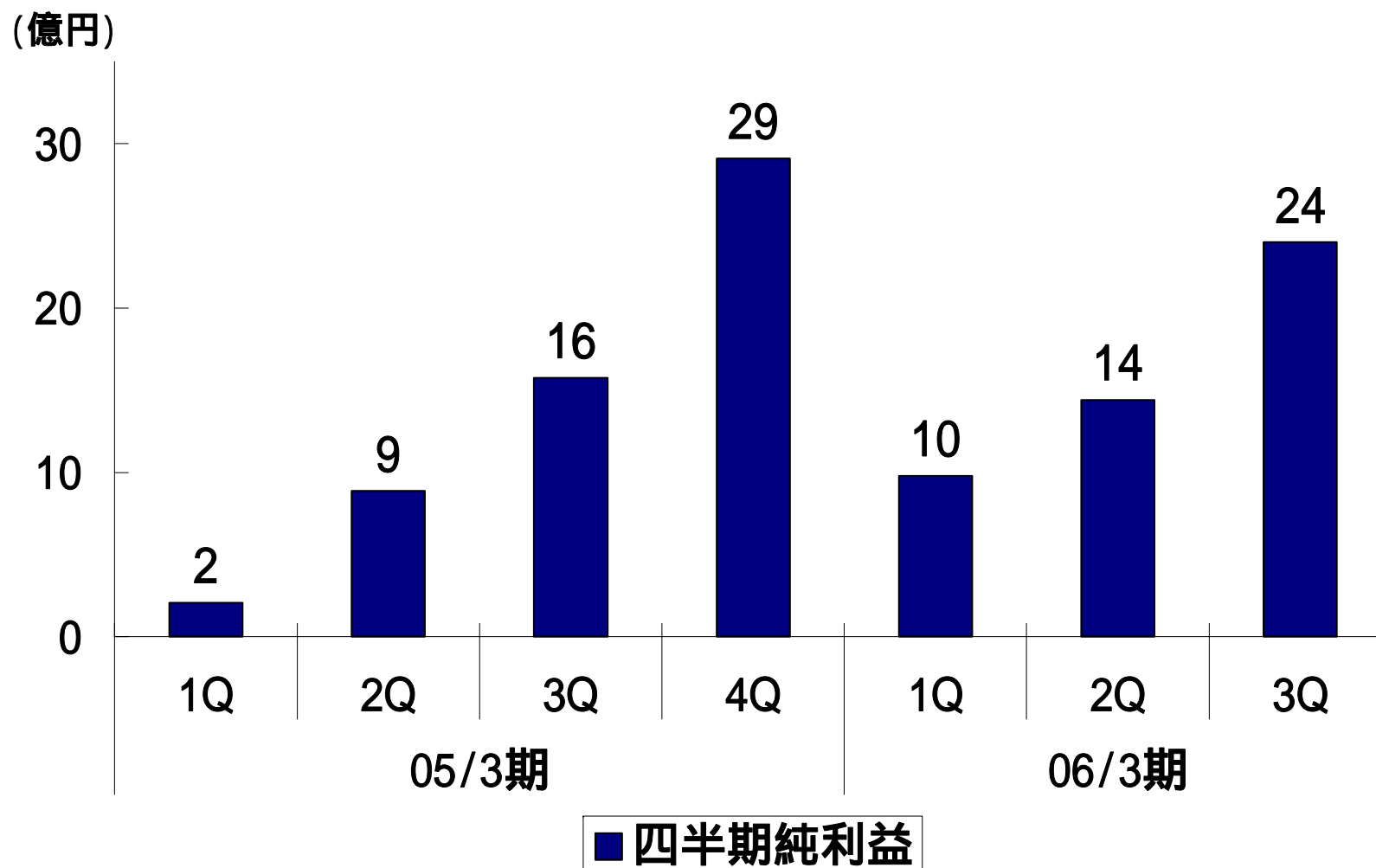


# 営業利益

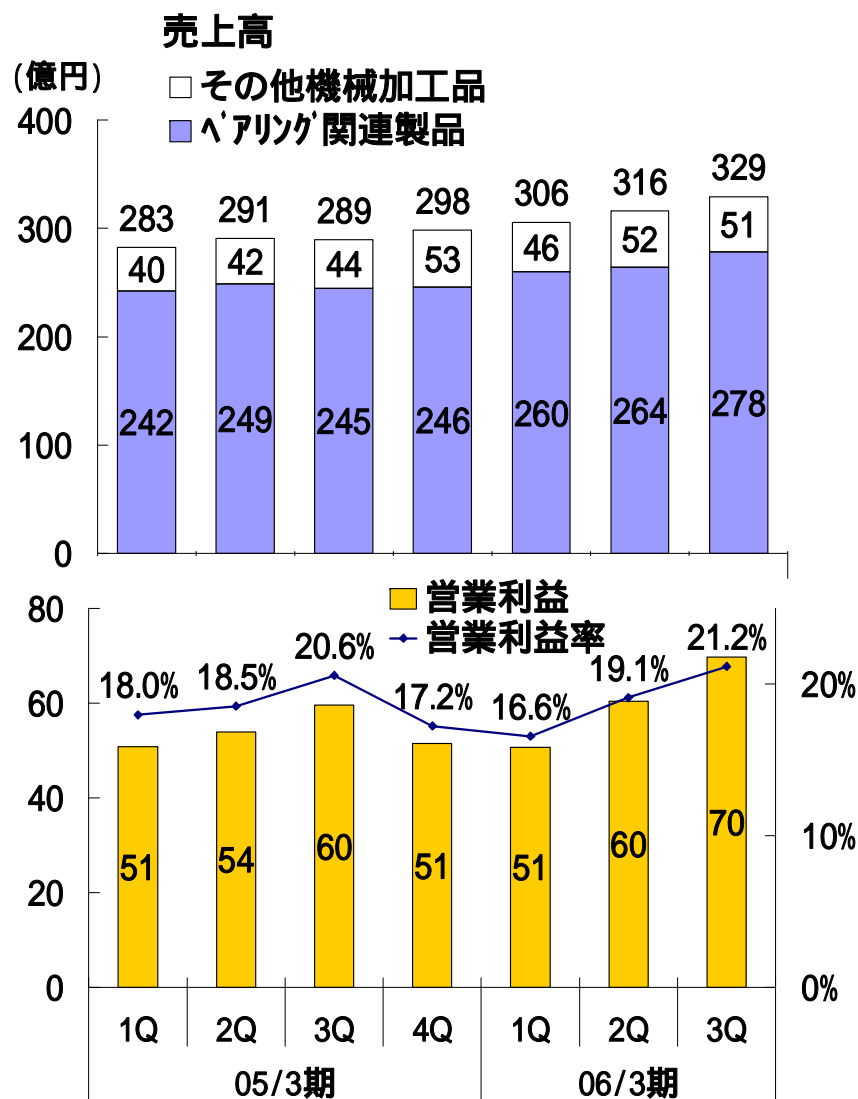
営業利益率が7.5%へ改善。



# 純利益



# 機械加工品事業



## ミニチュア・小径ボールベアリング

3Qはファンモーター向け等に増加。  
一段の原価低減に取り組み中。

## 航空機向けベアリング

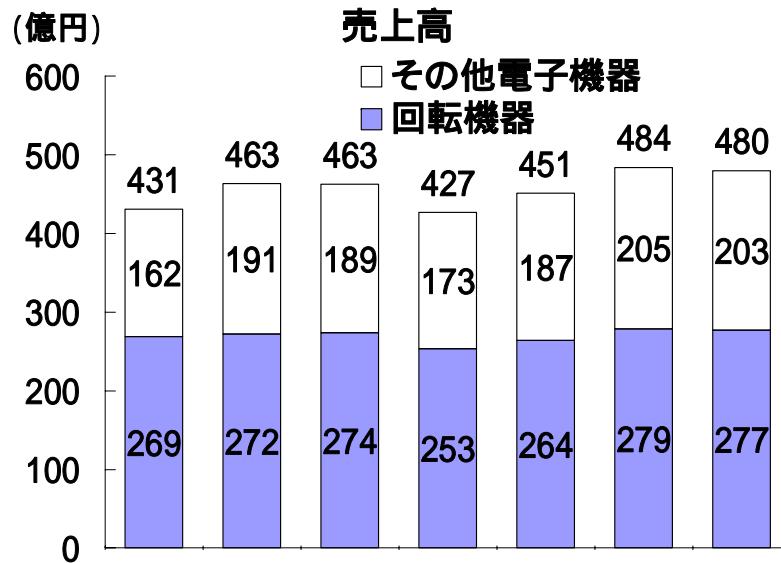
旺盛な需要が続いている。

## ピボットアッシー

好調なHDD需要をフルに享受。  
採算性が引き続き改善。

組立の歩留まり向上と部品の原価低減。

# 電子機器事業

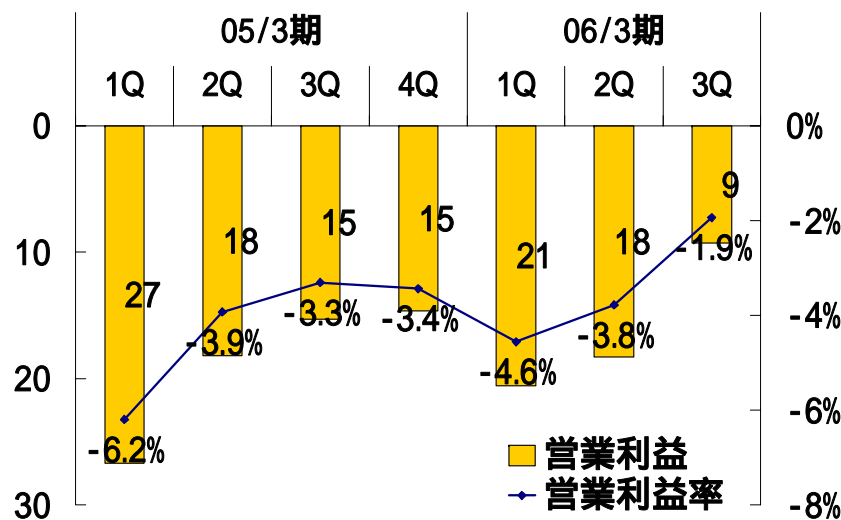


## HDDスピンドルモーター

3Qは販売が増加。  
原価低減施策の成果等により赤字脱却へ。

## ミネベア・松下モータ合併事業

構造改革の成果を3Qに一部確認。



## キーボード

タイからの生産移管が終了。  
損益改善を確認中。

## ライティングデバイス

市場の調整の影響を受けて売上が減少。3月以降回復の見込み。

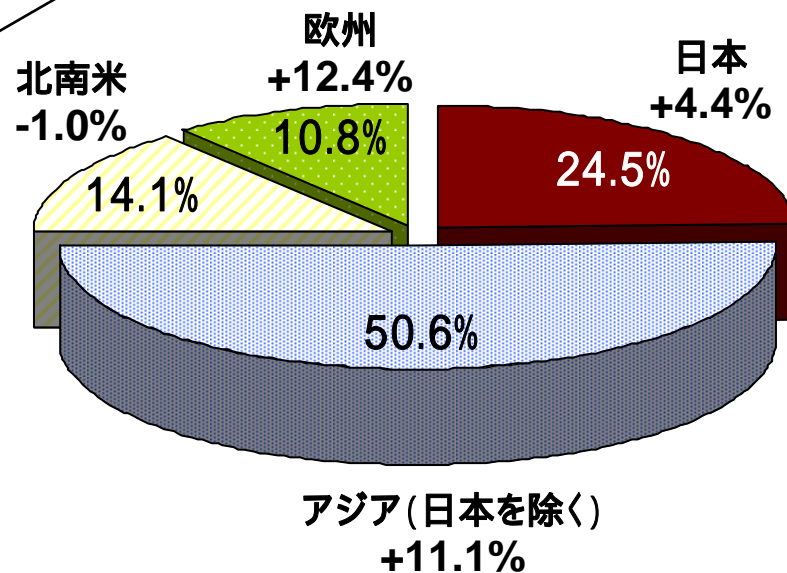
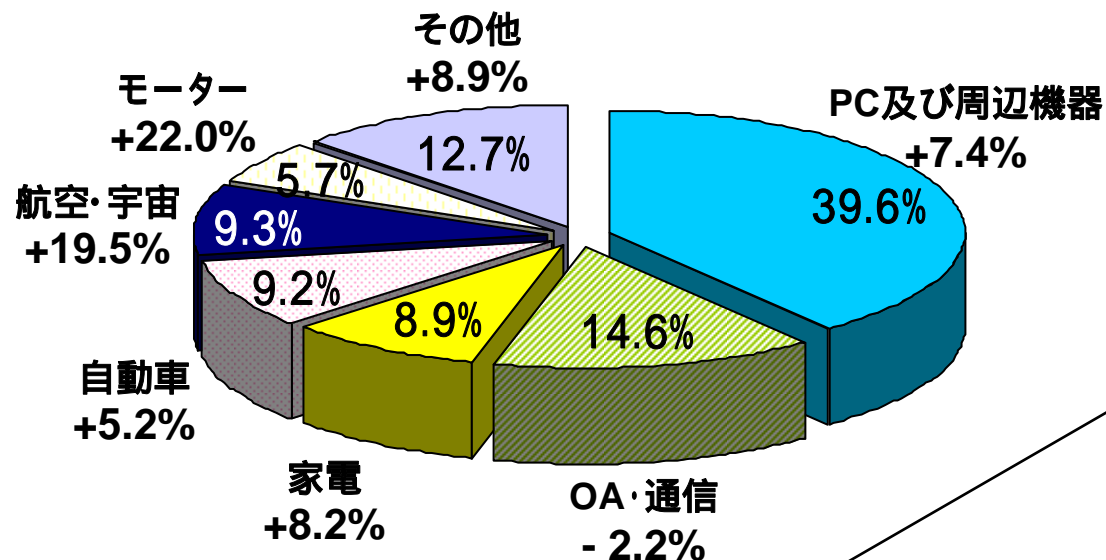
05.3期の数値は修正ロイヤリティを反映させ、4Qに計上した戻し益を各Qに配賦し算出。



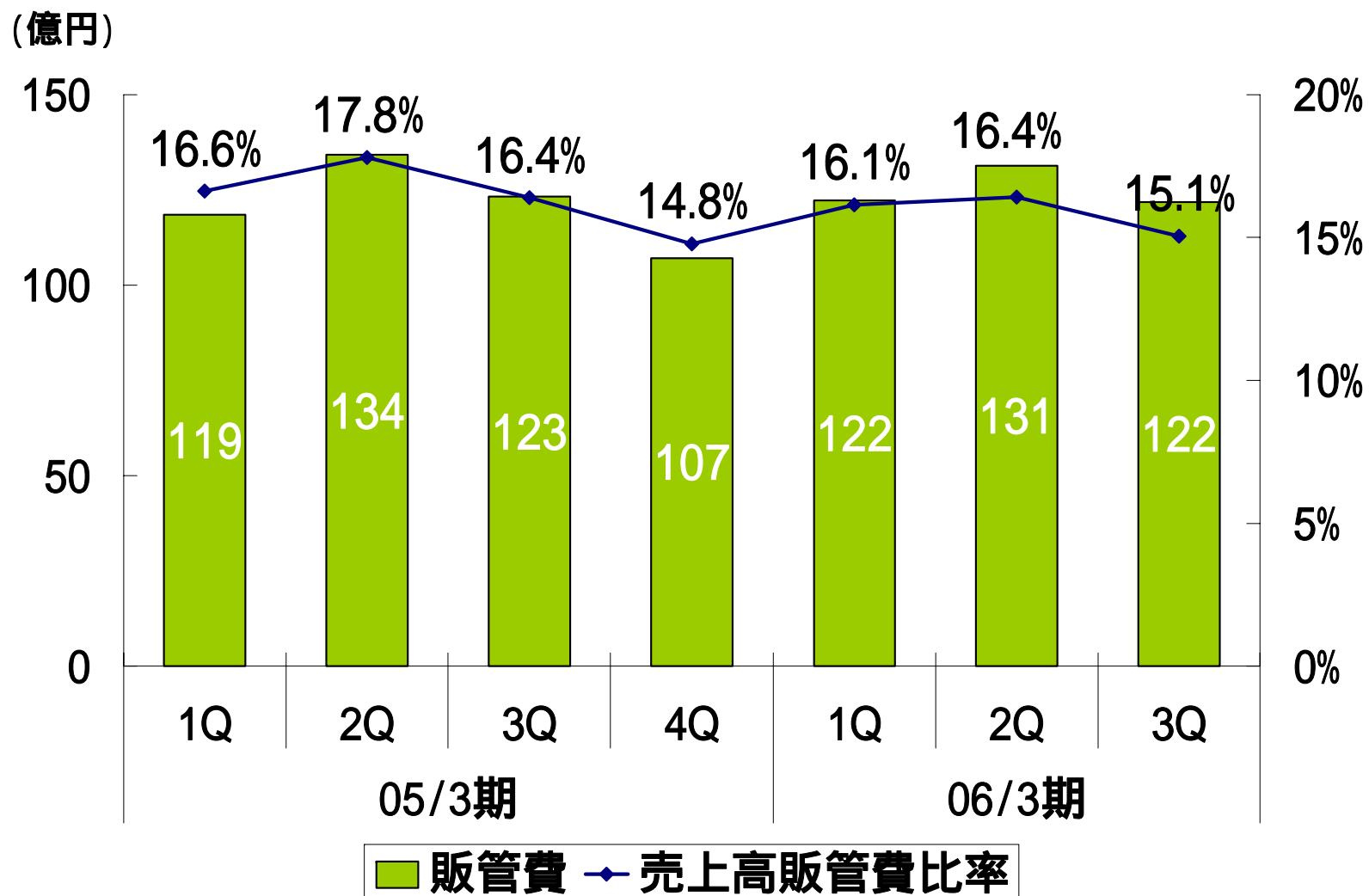
# 用途別・地域別売上高

## 3Q実績

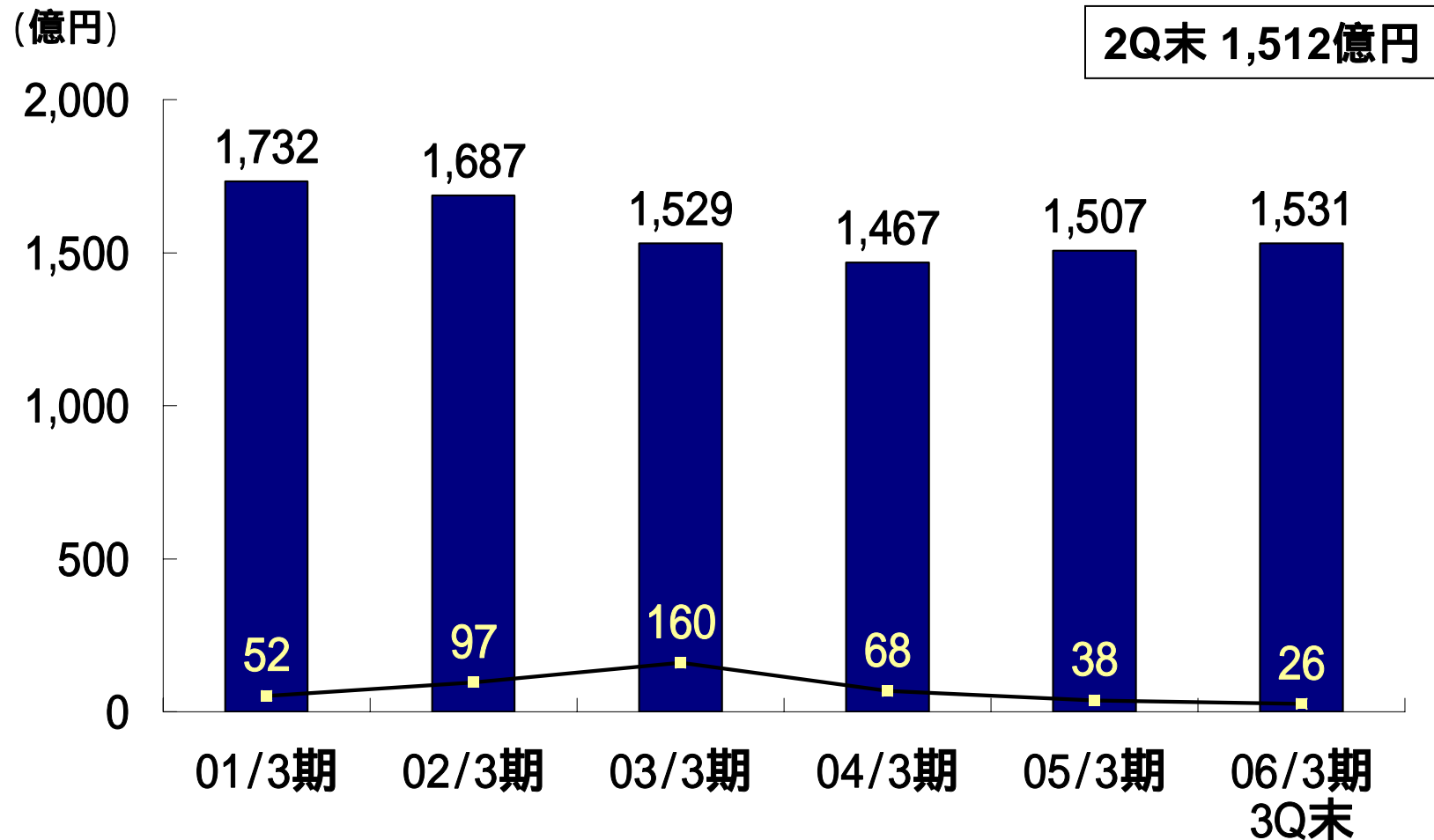
円内の数字は売上高比率  
円外は前年同期比伸び率



# 販管費



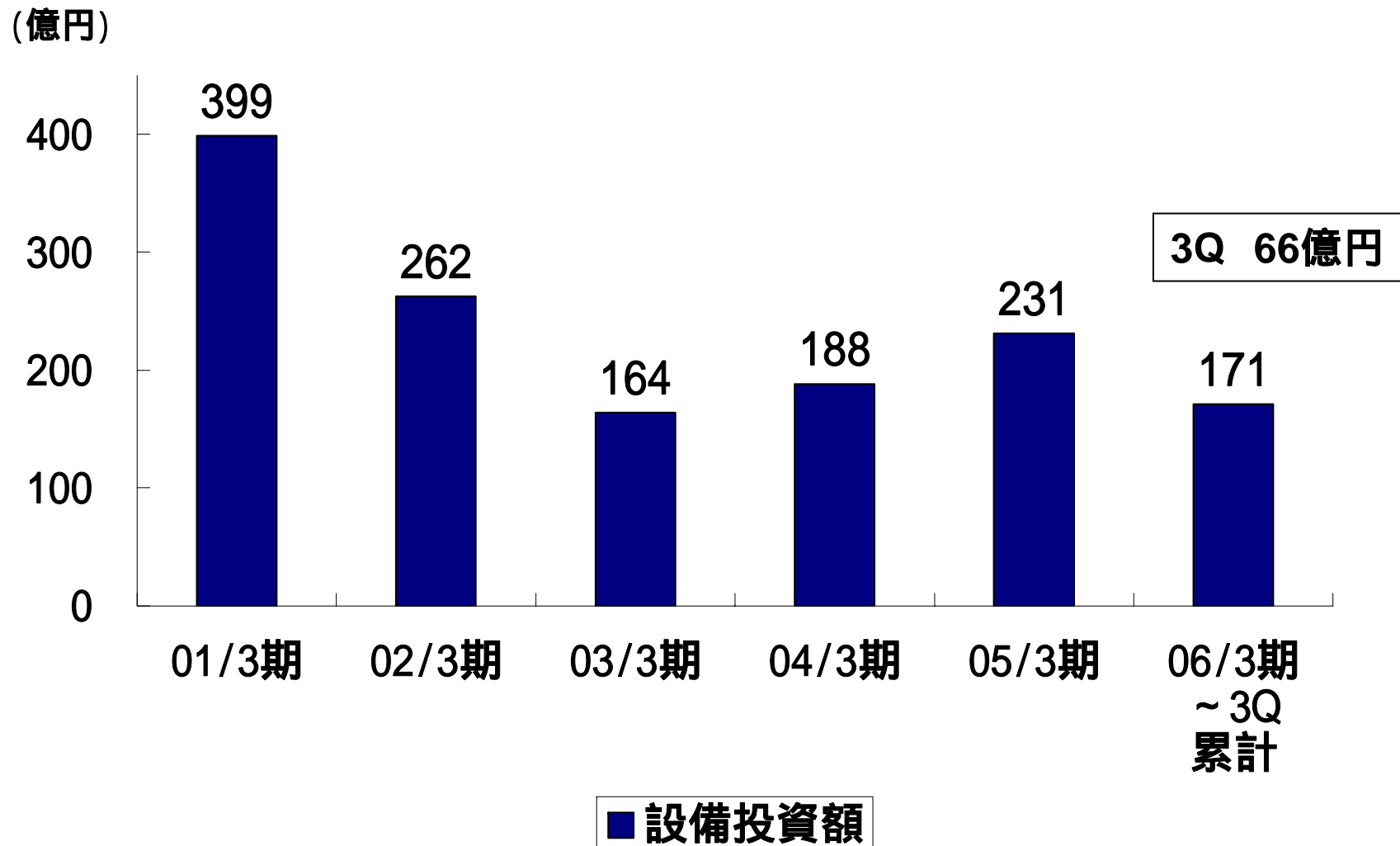
# 有利子負債



■ ネット有利子負債    ▲ フリーキャッシュフロー

ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金  
 フリーキャッシュフロー : 営業活動CF - 投資活動CF

# 設備投資額



# 第4四半期見通し

---

通期業績計画は変更なし。

# ミネベア株式会社

## 決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。